全国特定地域づくり探訪

●農業を中心に「働き手」「組合員」「地域」の三方よしを目指す

安来市特定地域づくり事業協同組合

住　所	〒692-0011 島根県安来市安来町878番地2	設　立	令和３年１月	認　定	令和３年２月
主な業種	農業、小売業、宿泊業	組合員数	13名	出資金	1口1千円

背景と目的

安来市では人口減少と高齢化率が進む中、主要産業の一つである農業が、後継者不足に加えて後継者が育たないことから、事業者の経営規模が縮小傾向にあった。また、若者が市外に流出し、地域を担う後継者の不足とともに通年の新規雇用が無く移住希望者の受け皿不足であったことから、“人づくり” をスローガンに農業を中心とした特定地域づくり事業協同組合制度の活用により通年雇用を創出することで、地域の担い手の育成に取り組むこととなった。

取り組みの手法と内容

安来市では、まず発起人の確保のために制度説明を行ったほか、公平性の観点から、市報に同梱して組合のチラシを全戸配布し、組合員を募集した。最終的には規模拡大(将来的に正社員採用)の意向のある事業者10者に絞って直接制度の説明を改めて実施した。また、農業や商工関係の組合員の募集や、市内の多様な仕事の情報を収集するために、JAや商工会と連携し、これらの団体を通じた市内の事業所に対する情報発信を行っている。組合加入について広く門戸を開いているが、２者以上の組み合わせにより通年雇用の見通しが立った時点で加入承認している。

「地域づくりパートナー」と呼ばれている組合職員（働き手）をそれぞれ２か所の組合員に組み合わせて派遣することで、それぞれの繁忙期の人手不足を補われ、組合員の人手不足の7割程度が解消されている。事務局職員には、市の会計年度任用職員で、銀行で副支店長を務めた経験のある人物を事務局長に、その他、地域おこし協力隊のOBを職員に採用した。

成果とその要因

当組合に採用された「地域づくりパートナー」はそれぞれが将来の目標をたてており、これまでに採用された９名のうちこれまでに３名が退職し、うち２名は派遣先の事業所に直接採用され、１名は起業に向け現在準備を行っている。目標どおりの退職を「卒業」として送り出すとともに、新たなパートナーの受入を行う仕組みを構築している。

パートナーが早く地域に馴染む方策として、組合では、自治会の行事への参加等を「地域貢献活動」と呼び、パートナー各自で年度ごとの地域貢献ポイント目標（10点以上）を設定し、活動に積極的に取り組んでいる。パートナーの家族を含む19名が安来市に移住し、うち１名は地元住民と結婚するなど、定住化が進んでいる。

設立に当たっては、県による設立交付金（200万円）の財政支援や、市の施設を間借りできたことや市との連携体制を構築できたことが有効に機能している。

組合webサイトTopページ

組合URL　https://www.yasugi-multi-work.com/